

米子市都市計画マスタープラン（素案）に対する市民意見公募（パブリックコメント）結果

意見の概要	意見に対する市の考え方
<p>市街化区域の見直しについて</p> <p>帰省して目立つのは市の中心部のシャッター通りと実家の周辺の耕作放棄地です。以前と比較しても、シャッター通りは相変わらずですし、耕作放棄地は年々増えています。実家は市街化区域に隣接する市街化調整区域にあります。現実に宅地として利用されながら、四十年以上そのままです。実家周辺の住宅建築は増加の一途をたどり、周囲の良好な住環境を反映していると考えられます。都市中心部の衰退は車社会の発展のためと考えられます。現状、中心地に広い駐車場を確保することは困難です。これを解決するためには、土地取引の活性化を図り、流れを作り出すことだと思います。やみくもに市街地の拡散を防止するのではなく、流れのうまれつつある市街化調整区域を市街化区域とし、規制をなくし流れを誘導することだと思います。その結果、中心部の土地を広く確保することが可能になり、新たな商業地等の計画に結びつくものと思われます。</p>	<p>市街化調整区域において、予定建築物の用途、目的、規模等が周辺の公共施設整備状況、既成市街地へ与える影響等を総合的に勘案して開発の許可を行っており、ご意見のとおり住宅建築がされていると思われます。</p> <p>米子市の人口は、今後減少傾向となる見込みであることから、現在市街化区域の拡大は困難な状況です。</p> <p>この度の都市計画マスタープランでは、「まちなかと郊外が一体的に発展する都市づくり」を掲げ、まちなかの蓄積された社会資本を有効に活用するとともに、郊外についても、交通の利便性の高い地区等の特性を活かしたまちづくりに取り組み、それぞれの拠点を公共交通や道路で結ぶことにより一体的に発展する事を目指しているところです。まちなかにおいては、土地の高度利用を進め、効率の良い「歩いて暮らせるまち」を目指します。また、市街化調整区域の開発に関しては、既に主要幹線道路沿いの規制緩和は行っているところですが、今後も、既存集落のコミュニティ維持を図るため、営農条件を悪化させない範囲において、規制緩和（地区計画の導入、開発許可条例の改正）を必要に応じて検討します。</p>
<p>ごみの収集について</p> <p>実家にある両親の荷物等を整理するにあたり、一番苦労したのはゴミ出しでした。その一つは可燃ごみと不燃ごみの処理施設が違うということでした。また、分別法も異なり、かなり苦労しました。いたるところにごみが詰め込まれ、まさにごみ屋敷のようで、整理に約一か月を要しました。今住んでいる入間市は、ごみの収集は週6回、基本的に無料です。入間市の人口は米子市とほぼ同じ、面積は三分の一、予算規模は200億円ほど少なく、処理施設は一か所です。</p> <p>かなり複雑なごみ出しの要領、これから増加する高齢者にとって、田舎暮らしを考える人にとって思わぬ障害となりえます。ちなみに、処理施設へのごみの持ち込みは営業時間内であれば書類申請は不要で、簡単にできます。これからは、様々な要素があるため、一朝一夕には結論は得られないかと思いますが、ぜひ考えてみていただきたいと思います。</p>	<p>ごみの収集につきましては、関係部局に伝えます。</p>

米子市都市計画マスタープラン（素案）に対する市民意見公募（パブリックコメント）結果

意見の概要	意見に対する市の考え方
<p>公園等について</p> <p>市の中心部には公園スペースがあり、充実しているように見受けられますが、ここで子供たちが遊んでいるのをあまり見かけません。子育て世代が、住環境の整った郊外へと流出しているためではないでしょうか。長砂町の実家周辺には、こういった公園はあまり見られません。公園も近くか、又は駐車場が隣接していれば利用者も増えることが考えられます。</p> <p>夏休み等に孫たちに田舎暮らしを経験させようと、帰省の折に呼び寄せています。大山や皆生に子供たちは大喜びですが、遺跡等の整備は不十分のように感じます。十分に手入れがされておらず、水辺が苔で滑りやすかったり、水質がかなり悪い場所もみられます。観光客を呼び、田舎暮らしを楽しみたい人たちを集めるには、お祭り等の大きな催しも必要ですが、きめ細やかな手当もまた必要と思われるます。</p>	<p>公園・緑地の設置目的は、人と自然が共生する都市環境の形成、うるおいのある景観づくり、市民のレクリエーション空間の提供、都市の安全性及び防災性の確保など様々な役割があります。</p> <p>中心部及び開発された団地内等の公園（住区基幹公園）は、子供が遊ぶだけでなく、災害の視点からも用途があり火災時の緩衝地として重要な役割を持っています。</p> <p>また、公園の種類としては、住区基幹公園や都市基幹公園、その他の公園・緑地等があります。住区基幹公園は、近隣の住民が歩いて行ける身近な公園としてあるため、駐車場は設置していません。都市基幹公園は、市民が集まる総合公園として駐車場を設置しており、指定緊急避難場所として位置づけています。</p> <p>遺跡等の維持管理につきましては、担当課に伝えます。</p>
<p>産業振興について</p> <p>入間市は東京のベッドタウンである他、お茶の生産以外大きな産業はありません。市内に大きな県立公園が整備されたことを契機に、これらを活用したお祭り等、大きなイベントの計画と米軍の宿舎跡を活用した街並みの整備等が実行され賑わいをみせています。一方、米子市の大きな魅力は手の届く範囲に豊かな自然と、美味しいレストラン、食堂、お菓子屋さんのある事です。新鮮な魚介類も見逃せません。余談ですが、チェーン店の回転寿司の味も全く違います。市として私企業の優劣をつけることは難しいとおもいますが、米子版ミシュランガイドなどを活用し、隠れた名店をアピールしてはいかがでしょうか。基幹である農業の振興も大事ですが、これらの魅力は東京近郊の入間市では望むべくもありません。</p>	<p>産業振興につきましては、担当課に伝えます。</p>